

平成26年度公益社団法人岩手県栄養士会医療職域研修会報告

今年度の当法人医療職域会の研修会は【岩手糖尿病医療職域フォーラム】と題し下記の日程で開催されました。

記

日時 26年11月15日(土) 10時～

場所 盛岡市マリオス18階 会議室

講演① 「チームで連携しケアの向上を目指す」～多職種と患者さんの情報共有を考える

講師 岩手医科大学病院 主任看護師 佐々木幸子 先生

講演② 「糖尿病治療薬の服薬指導～チーム医療における観察・指導のポイント」

講師 岩手医科大学病院 主任薬剤師 朝賀 純一先生

講演③ 「糖尿病患者に対する運動療法」

講師 岩手医科大学病院 理学療法士 藤井祐輔 先生

特別講演 「最新の糖尿病治療」

講師 岩手医科大学病院 糖尿病・代謝内科分野 助教 本間 博之先生

講演感想

今回の研修会では医師の他、看護師・薬剤師・理学療法士の先生方から講演をいただき、患者さんに対し糖尿病治療を行うためには多職種協同で取り組んでいかなければならないという事を再認識しました。

佐々木先生からは看護師の立場から糖尿病合併症管理料でのフットケアの重要性や患者さんとのコミュニケーションを大事にすること、そして少しの情報をスタッフ間で共有していくことが大切であることを学びました。

薬剤に関しては薬剤の種類・効能や副作用なども知ることにより体重が減りにくい理由や他の薬剤との併用が出来ない由などを理解することができました。また最新の薬剤についても紹介いただきました。

特別講演においては糖尿病のなりたちや高血糖・低血糖の症状や対応などについてわかりやすく講義していただきました。

各職種が持っている情報を持ち寄り、カンファレンスを行うことによりケアの向上が期待されます。私たち医療従事者は患者さん一人一人に合った治療を行なっていかなければならず、そのためには私たちがチームで協同し多職種との連携が大切になるであろうと今回の研修を受け感じました。

以上

